

施策2

スポーツ・文化活動の振興
(全 28 事務事業)

施策2.スポーツ・文化活動の振興

● 施策評価表

● 事務事業評価表

掲載開始
ページ

1. 国際交流事業	(まちの魅力推進課)	1
2. シーメイトの湯管理運営事業	(福祉課)	3
3. シーメイトグラウンド管理運営事業	(福祉課)	5
4. シーメイト屋内施設管理運営事業	(福祉課)	7
5. シーメイト屋外施設維持管理事業	(福祉課)	9
6. スポーツ推進委員活動支援事業	(社会教育課)	11
7. スポーツ協会支援事業	(社会教育課)	13
8. 大会等参加支援事業	(社会教育課)	15
9. 新体力テスト会開催事業	(社会教育課)	17
10. 糟屋地区社会教育振興会参画事業	(社会教育課)	19
11. 社会教育委員の会運営事業	(社会教育課)	21
12. 文化協会活動支援事業	(社会教育課)	23
13. 文化祭開催事業	(社会教育課)	25
14. 図書館図書貸出事業	(社会教育課)	27
15. 図書館一般講座開催事業	(社会教育課)	29
16. 図書館ボランティア活動支援事業	(社会教育課)	31
17. 生涯学習館ボランティア講師派遣事業	(社会教育課)	33
18. 生涯学習推進委員会運営事業	(社会教育課)	35
19. 生涯学習館一般講座開催事業	(社会教育課)	37
20. 生涯学習館学習発表会開催事業	(社会教育課)	39
21. 町民センター管理運営事業	(社会教育課)	41
22. 図書館管理運営事業	(社会教育課)	43
23. 広域体育施設活用事業	(社会教育課)	45
24. 社会体育館等管理運営事業	(社会教育課)	47
25. 屋外スポーツ施設管理運営事業	(社会教育課)	49
26. 体育施設整備事業	(社会教育課)	51
27. 町民センター改修事業	(社会教育課)	53
28. 生涯学習館管理運営事業	(社会教育課)	55

施策評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)			前期基本計画期間 <<令和3年度~7年度>>	
体 計 系 画	基本目標	1. “ひと”と“まち”がにぎわい魅力あふれるまち	施策統括課	社会教育課
	施策	2. スポーツ・文化活動の振興	関係課	まちの魅力推進課・福祉課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標	単位	基準値	R5目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R5実績値		
スポーツ行事の参加者数	人	4,510	4,564		c
2-1		↗	928		
講座内容に満足している講座生の割合	%	97.9	98.6		b
2-2		↗	96.9		
町民図書館における 町民一人あたりの貸出冊数	冊	3.2	3.2		a
2-2		→	4.2		
町内のスポーツ施設・文化施設を 利用したことがある町民の割合	%	41.0	46.4		c
2-3		↗	38.1		
町内のスポーツ施設・文化施設に対する 満足度	%	78.9	85.6		c
2-3		↗	80.8		

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

2-1 スポーツ活動を支援する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 スポーツ活動の支援 52位 / 9位	社会教育課

町が取り組むべきこと①	すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町のスポーツ活動を広く推進しているスポーツ協会への運営サポートと補助金の交付を行った。 ・スポーツやレクリエーションの普及啓発を行うスポーツ推進委員会の事務局として、活動を支援した。 ・新体力テスト会をスポーツ推進委員と実施内容を検討して開催した。
課題	・子どもに関しては、塾や習い事があり、また、青年期から壮年期にかけては、仕事を中心となった生活になっているため、イベントの参加やスポーツをする機会が減少傾向にある。
R7年度取り組み方針	・スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組む。
町が取り組むべきこと②	スポーツを身近に親しむことができるよう、手軽にできるスポーツやレクリエーションの普及啓発を推進します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会等で軽スポーツを実施してもらうため用品の貸し出しを行った。 ・スポーツフェスタを開催し、軽スポーツの普及を行った。
課題	なし
R7年度取り組み方針	・スポーツへの関心、意欲を高めてもらうため、スポーツフェスタなどに参加してもらい、日常における体力づくりのためにスポーツに接する機会を増やす。
町が取り組むべきことの達成状況	
<input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業									
番号	事務事業名		事務事業評価					施策評価	
	事務事業の概要		経費区分	事業費			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R4 決算	R5 決算	R6 予算			
1	スポーツ推進委員活動支援事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	846	1,433	2,016			
			合計	846	1,433	2,016	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
スポーツ推進委員のスポーツ推進活動が活発に行われるよう、スポーツ推進活動の支援を行う。									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.19	0.17	0.17			
2	スポーツ協会支援事業		特定財源	0	0	0	D	○	D
			一般財源	4,378	4,458	4,462			
			合計	4,378	4,458	4,462	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
志免町スポーツ協会の活動が活発に行われるよう、スポーツの普及、振興を図る活動の支援を行う。									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.19	0.17	0.19			
3	大会等参加支援事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	1,493	2,740	3,235			
			合計	1,493	2,740	3,235	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
糟屋郡民スポーツ大会等の上位大会の出場選手の大会に参加する経済的な負担が軽減されるよう、助成金の交付等の参加の支援を行う。									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.18	0.16	0.16			
4	新体力テスト会開催事業		特定財源	0	0	-	D	-	D
			一般財源	5	1	-			
			合計	5	1	別事業と統合	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
町民が日常的な体力づくりができるよう、新体力テスト会の開催を行う。									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.10	0.10				
5	スポーツイベント開催事業		特定財源	-	-	1,783	D	-	D
			一般財源	-	-	2,613			
			合計	-	-	4,396	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
町民がスポーツへの関心や意欲が高まるよう、スポーツフェスタなどのイベントの開催を行う。									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	-	-	0.77			
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性									
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし							
	拡充事業の方向性や内容	なし							
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし							
	縮小事業の方向性や内容	なし							
R7年度の町が取り組むべきことの方向性			<input type="checkbox"/> 最優先 <input checked="" type="checkbox"/> 優先 <input type="checkbox"/> 維持						

2-2 生涯学習・文化活動を支援する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 生涯学習・文化活動の支援 47位 / 8位	社会教育課

町が取り組むべきこと①	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町文化活動の推進役として様々な活動(芸能発表会・美術展等)をしている文化協会に助成金を交付した。 ・文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・美術作品展示等を実施した。 ・図書館の教養講座は、コロナ禍を経て再開した。 ・生涯学習館の講座では、受講生を増やすため、講座開催の周知についてホームページ、広報紙など、様々な手段で情報発信を行った。 ・「生涯学習館フェスタ」は、コロナ禍を経て開催した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の参加者が少なくなっているため、自主サークルへの移行がなくなっている。 ・文化協会会員の高齢化に伴い、団体の解散や脱退などが増加傾向にある。
R7年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町民が参加しやすい講座を開催する。 ・文化協会と連携をし、様々な活動の支援と会員確保に向けた取り組みを継続していく。
町が取り組むべきこと②	町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための日本語講座を開催した。 ・国際交流事業(イングリッシュプログラム)を実施した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・イングリッシュプログラムは応募定員に対し応募者数が多く抽選となった。
R7年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、イングリッシュプログラムの定員設定を見直しながら、国際交流事業を実施する。
町が取り組むべきこと③	新しい本や特設コーナーの紹介など、町民図書館の情報を発信します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙だけでなく、ホームページに写真を掲載して毎月の特設コーナーを紹介した。 ・令和5年4月から、電子図書館開設のサービス開始した。
課題	なし
R7年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙掲載や館内掲示に加えて、ホームページやLINE、dボタン広報誌による情報発信を積極的に行い、新たな利用者増を目指す。 ・引き続き、広域電子図書館を運営し、利用者へ提供する。
町が取り組むべきこと④	町民の生きがいがづくりや文化活動を通じた仲間づくりのため、読み聞かせなどの町民図書館主催イベントのボランティア活動を支援します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体の活動を支援するため助成金を交付し、活動場所を確保した。 ・よみかせを行うため、学校など関係機関との連絡調整を担った。 ・ボランティア団体と協議し、新しい会員募集を含めた今後の活動の方向性を共有した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが高齢化している。
R7年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座を開催し、各団体の活動内容を紹介して新会員を募集する。
町が取り組むべきことの達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R4 決算	R5 決算	R6 予算			
1	国際交流事業		特定財源	0	0	557	D	-	D
			一般財源	297	610	506	成果・費用とも維持		
			合計	297	610	1,063			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
まちの魅力推進課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.25	0.40	0.40				
2	糟屋地区社会教育振興会参画事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	1,535	1,839	2,106	成果・費用とも維持		
			合計	1,535	1,839	2,106			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.15	0.17	0.20				
3	社会教育委員の会運営事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	513	790	909	成果・費用とも維持		
			合計	513	790	909			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.21	0.20	0.22				
4	文化協会活動支援事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	1,260	1,260	1,931	成果・費用とも維持		
			合計	1,260	1,260	1,931			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.15	0.16	0.20				
5	文化祭開催事業		特定財源	0	0	0	D	○	B
			一般財源	7	1,212	2,192	成果・費用とも維持		
			合計	7	1,212	2,192			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.19	0.22	0.32				
6	図書館図書貸出事業		特定財源	3,146	42	40	A	○	D
			一般財源	8,391	11,646	39,123	成果拡充・費用拡大		
			合計	11,537	11,688	39,163			
			(内 会計年度任用職員人件費)		(2,121)	(28,011)			
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.50	0.48	0.77				
7	図書館一般講座開催事業		特定財源	0	0	30	D	-	D
			一般財源	0	0	25	成果・費用とも維持		
			合計	0	0	55			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.19	0.22	0.27				
8	図書館ボランティア活動支援事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	115	115	115	成果・費用とも維持		
			合計	115	115	115			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.27	0.17	0.52				
9	生涯学習ボランティア講師派遣事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	0	0	10	成果・費用とも維持		
			合計	0	0	10			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.07	0.04	0.02				
10	生涯学習推進委員会運営事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	48	36	96	成果・費用とも維持		
			合計	48	36	96			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.13	0.18	0.03				
11	生涯学習館一般講座開催事業		特定財源	471	387	820	D	○	D
			一般財源	3,291	3,343	4,889	成果・費用とも維持		
			合計	3,762	3,730	5,709			
			(内 会計年度任用職員人件費)	(2,077)	(2,229)	(2,756)			
社会教育課 一般会計		関与 正職員数(人)	0.17	0.22	0.02				

生涯学習館学習発表会開催事業		特定財源	0	0	0	D		D
12	町民が生涯学習に対する興味や関心が深まり、また受講生の学習意欲が向上するよう、発表会の開催を行う。	一般財源	39	55	510	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持
		合計	39	55	510			
		(内 会計年度任用職員人件費)						
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.12			
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性								
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし						
	拡充事業の方向性や内容	・文化祭は、商工会との合同開催により、経費の縮減と来場者の増加が期待される。また、より質の高い文化祭を開催するため、企画から運営までを専門の民間企業に委託することも検討していく必要がある。						
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし						
	縮小事業の方向性や内容	なし						
R7年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持						

2-3 スポーツ・文化活動ができる場を提供する <重点取組>	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) スポーツ活動・文化活動ができる場所の確保 43位 / 18位	社会教育課

町が取り組むべきこと①	施設の老朽化に対応するため、志免町公共施設個別施設計画に基づき、優先順位を明確にして、段階的に改修します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・シーメイト建物の外壁タイルの浮きや剥がれが多数発生しており、修繕工事の入札を行った。 ・浴場ろ過装置のポンプ交換を行った。 ・社会体育施設等利用者から施設修繕などの要望があった場合、状況を確認してその都度対応した。 ・施設の使用停止に伴い、弓道場の整備を行った。 ・町民センター改修工事(令和5年度～令和7年度)に着手した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・シーメイト施設の老朽化が顕著である。 ・シーメイト館内、シーメイトグラウンド照明等屋外施設も含め、蛍光灯や水銀灯の製造停止に伴い交換が困難となっている。 ・公共施設全体の老朽化が進んでおり、必要な改修ができていない施設が存在している。
R7年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・シーメイト施設のLED化を行う。 ・既存施設については、劣化状況や施設が持つ役割等により優先度を決定し、効率的な改修に取り組む。
町が取り組むべきこと②	町に設置が困難な屋内プールなどについては、近隣施設の利用を支援します。
主な取り組み状況	・福岡県立アクション福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を町民の人が低料金で利用できるよう、施設利用の契約をした。
課題	なし
R7年度取り組み方針	・今後も施設管理者と利用契約し、町民の人が安価で利用できるようにする。
町が取り組むべきこと③	施設予約や使用料の支払いなど施設の利用方法の利便性を向上させます。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設インターネット予約システム、キャッシュレス決済の導入を行った。 ・公共施設インターネット予約システムの維持、管理において運用方法や条例、規則の見直しを行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約システムでの予約の場合、減免団体の該当要件や使用理由の確認が不明確となり、減免規定等の運用に支障が出ている部分がある。 ・シーメイトでは、インターネット予約システム利用者等の当日の空調利用変更に対応することが難しい。 ・公共施設インターネット予約及びキャッシュレス決済の手続きについて、利便性は向上するものの煩雑な操作方法を懸念する利用者の声がある。
R7年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料の減免規定やインターネット予約システムとの連携について、使用料の改定も含め関係課と協議を進める。 ・公共施設インターネット予約システム及びキャッシュレス決済について、積極的に利用してもらえよう、分かり易い手続き方法の案内と周知を行う。
町が取り組むべきことの達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R4 決算	R5 決算	R6 予算			
1	シーメイトの湯管理運営事業		特定財源	14,066	12,553	9,110	D	-	D
			一般財源	29,039	24,405	32,335			
			合計	43,105	36,958	41,445	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
福祉課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.30	0.28	0.54			
2	シーメイトグラウンド管理運営事業		特定財源	3,918	3,516	3,728	D	-	D
			一般財源	5,461	6,467	8,693			
			合計	9,378	9,983	12,421	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
福祉課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.27	0.26	0.50			
3	シーメイト屋内施設管理運営事業		特定財源	19,080	21,025	144,659	D	-	D
			一般財源	90,963	85,830	99,019			
			合計	110,043	106,856	243,678	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(13,863)	(16,679)	(21,388)			
福祉課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.28	0.30	0.58			
4	シーメイト屋外施設維持管理事業		特定財源	1,264	1,327	0	D	-	D
			一般財源	12,115	13,956	15,704			
			合計	13,379	15,283	15,704	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(2,228)	(2,368)	(2,899)			
福祉課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.27	0.27	0.51			
5	町民センター管理運営事業		特定財源	4,182	252	0	D	-	D
			一般財源	26,991	16,750	14,904			
			合計	31,173	17,002	14,904	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(7,845)	(6,002)	(7,182)			
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.81	0.40	0.35			
6	図書館管理運営事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	22,083	22,403	936			
			合計	22,083	22,403	936	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(21,261)	(22,101)				
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.52	0.47	1.03			
7	広域体育施設活用事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	317	325	1,136			
			合計	317	325	1,136	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.11	0.08	0.08			
8	社会体育館等管理運営事業		特定財源	2,095	2,453	1,830	A	-	D
			一般財源	13,294	12,691	11,791			
			合計	15,388	15,144	13,621	成果拡充・費用拡大		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(2,150)	(2,282)	(2,799)			
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.40	0.42	0.50			
9	屋外スポーツ施設管理運営事業		特定財源	11,572	4,339	4,950	D	-	D
			一般財源	6,970	7,283	8,716			
			合計	18,542	11,622	13,666	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.86	0.71	0.62			
10	体育施設整備事業		特定財源	57,590	259,100	118,463	A	○	D
			一般財源	1,552	26,563	12,057			
			合計	59,142	285,663	130,520	成果拡充・費用拡大		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.88	0.85	0.83			
11	町民センター改修事業		特定財源	56,980	30,946	1,599,745	D	○	D
			一般財源	0	0	0			
			合計	56,980	30,946	1,599,745	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.37	0.56	0.57			
12	生涯学習館管理運営事業		特定財源	1,285	1,708	1,672	D	-	D
			一般財源	17,274	18,247	20,915			
			合計	18,558	19,955	22,587	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(6,087)	(6,434)	(7,769)			
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.71	0.48	0.19			

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R7年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input checked="" type="checkbox"/> 優先 <input type="checkbox"/> 維持

3. 施策の総括と今後の展開

施策の成果指標の達成度は「町民図書館における町民一人あたりの貸出冊数」は目標値を上回っている。「講座内容に満足している講座生の割合」もあと少しで目標値を達成する。「スポーツ行事の参加者数」の実績値はスポーツフェスタが雨になったことが影響している。「町内のスポーツ施設・文化施設を利用したことがある町民の割合」、「町内のスポーツ施設・文化施設に対する満足度」ともに目標値に達していないが、コロナ禍を経て回復傾向にある。今後は施設のインターネット予約が始まり、利用者数もコロナ禍前に戻るように取り組みを進める。また、スポーツ活動や生涯学習・文化活動を支援するために、関係団体と連携し取り組みを進めていくとともに、それらの活動ができる場を提供するために、志免町公共施設個別施設計画に基づき改修していく。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0402201
事務事業名		国際交流事業		担当課	まちの魅力推進課	担当係	地域づくり係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	01	総務管理費
					目	01	一般管理費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 2 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
		㊧ 町内在住外国人	人	731	811	811
		㊨				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	(町民)異文化に触れることができ、国際理解を深め、国際感覚を養うことができる。 (町内在住外国人)日本語や日本文化への理解を深める。				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町民の国際理解、国際感覚を育むための講座等を開催する。また、志免町在住や勤務する外国人が日本語を学び、外国での生活を支援する。 ・外国人のための日本語講座の開催 ・国際交流行事の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	外国人のための日本語講座開催数	回	目標	44	45	47
				実績	44	45	
イ	活動	国際交流行事開催数	回	目標	1	1	2
				実績	1	1	
ウ	成果	外国人のための日本語講座受講者数(延べ人数)	人	目標	200	250	250
				実績	267	293	
エ	成果	国際交流行事参加者数	人	目標	30	30	60
				実績	10	29	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
財源	その他特定財源	0	231	0	557		
	一般財源	297	410	610	506		
	合計(A)	297	641	610	1,063		
	(内 会計年度任用職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	1,914	3,878	3,168	3,200		
	トータルコスト(A)+(B)	2,211	4,519	3,778	4,263		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.25	0.50	0.40	0.40	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成2年12月に発足した志免町国際交流町民会議に合わせ事業を開始した。平成23年3月に同会議が解散したため、一時事業を中断したが、平成24年4月に事業を再開した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 年々、外国がより身近になり、外国文化への理解が進んでいる。留学や就労で来る外国人も年々増えている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 日本語講座において、参加者(外国人)の出欠が日によって増減するため、それに対応するようにボランティア講師を調整することが負担となっている。
---	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	国際理解を相互に深めることは、文化活動の振興につながるため、上位施策への貢献度がある。	2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国際交流事業の意図は国際理解を相互に深めることであり、総合計画及び総合戦略と合致している。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画及び総合戦略において町の取り組みとして位置づけられている。また、日本語教室の運営はボランティア講師が行っており、町と住民が役割を分担して事業に取り組んでいるため、妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症も収束し、今年度からイングリッシュプログラムを再開することができたため、成果は得られている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象は年代・国籍を問わず町民全体とすることが適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	今年度から再開したイングリッシュプログラムでは、開催地をハウステンボスから北九州グローバルゲートウェイに変更した。令和4年度に新しくできた英語体験施設で、年齢に合わせたプログラムを組むことができ、手段として適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業実施にあたり町が担う業務は必要最低限で取り組んでいるため、効率的である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業実施にあたり町が担うコストは必要最低限で取り組んでいるため、削減の余地がない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	日本語講座は受益者負担をしてもらっているが、イングリッシュプログラムは旅行業法で参加費の徴収が困難であるため、改善の余地はなく、財源確保は適切である。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 小学生30人を対象にイングリッシュプログラムを再開した。開催地をハウステンボスから北九州グローバルゲートウェイに変更することで、より専門性を深めたプログラムとし、子どもたちが異文化と触れる機会を与えることができた。参加者からは概ね好評であったこともあり、開催回数及び参加人数を拡大したい。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A
		維持		E	D	
		縮小		F		
		休廃止	G			
D		成果・費用とも維持				
コストの方向性(一般財源・関与職員数)						

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	0902301
事務事業名	シーメイトの湯管理運営事業			担当課	福祉課	担当係 福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計 01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款 03	民生費
					項 01	社会福祉費
					目 05	総合福祉施設管理費
根拠法令条例等	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民(及び町外利用者)	人	46,631	46,588	46,497
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・快適に入浴施設を利用できる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シーメイトの浴場と電子浴ルームの管理運営を行う。 ・浴場の運営事務 ・利用料収納事務 ・施設維持管理業務(浴場清掃や浴場受付などの業務を委託、施設修繕)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	浴場開場日数	日	目標	256	255	99.6%
				実績	237	255	
イ	活動	修繕件数	件	目標	5	5	160.0%
				実績	6	8	
ウ	成果	浴場利用者数	人	目標	30,000	45,000	111.5%
				実績	37,663	44,585	
エ	成果	修繕対応率(修繕件数/修繕必要件数)	%	目標	100.0	100.0	100.0%
				実績	100.0	100.0	
オ	成果	管理不足に起因する事故発生件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
	財源	その他特定財源	14,066	8,930	12,553	9,110	
		一般財源	29,039	30,165	24,405	32,335	
		合計(A)	43,105	39,095	36,958	41,445	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	2,296	2,170	2,375	4,555	
		トータルコスト(A)+(B)	45,401	41,265	39,334	46,000	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.30	0.28	0.28	0.54	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月のシーメイト開館時より、誰もが利用できる施設として浴場、電子浴ルームの営業を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、設備の修繕が多くなっている。燃料費の高騰などもあり、福祉施設であることを鑑みても受益者負担を見直す必要がある。また、利用者の多くは町外在住者である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者) ・休館日翌日が休湯日と知らなかった。分かりにくい。 ・休館日翌日も営業してほしい。 ・入墨者の入浴を禁止してほしい。 ・お湯が熱い。又は、お湯がぬるい。 ・冷房を強くしてほしい。 ・サウナを再開してほしい。
--	---	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	浴場・電子浴ルームを安全かつ低料金で利用できることによって、健康維持・増進やスポーツ・文化活動の振興に貢献している。また、人とふれあうことで地域活動に参加するきっかけとなっているが、利用者の過半数は町外在住者である。 利用者の多くは町外在住者であり全町民に占める利用者の割合低い。また、総合計画、法令等においても、行政が行うべき事業である明確な記載がなく検討の余地がある。	2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い					
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い					
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	施設が老朽化しており、適宜、修繕が必要となっているが、利用者数の増加の余地はある。 町営施設として、対象が町民は妥当であるが、町外利用者が半数である。 対象者に快適に利用してもらうためには、現状行っている維持管理等は必要な手段であり適切である。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	受付などの管理は委託している。また他の業務についても必要最小限の人員で効率的に行っている。 採算性が見込める事業ではなく、また、施設の老朽化により修繕費用や燃料費等の増加が見込まれる。ランニングコストの適正化を図る必要がある。 受益者負担の見直し(増額)が必要である。普通公衆浴場(銭湯)入浴料金は、物価統制令(昭和21年3月勅令第118号)の規定に基づき知事が指定していますが、その額と同程度まで、値上げを行う。	1			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	老朽化による設備の故障や、燃料費の高騰により維持管理に必要な経費が増加している。また、令和5年度末をもって町内を無料巡回する福祉巡回バスが廃止されることから、利用者の大幅な増加は見込めない。 利用者のうち、町外利用者の割合が半数を占めており、受益者負担の見直しなどが必要である。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
合計6点	c	b	a	a			
C		課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0902302
事務事業名	シーメイトグラウンド管理運営事業			担当課	福祉課	担当係	福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	03	民生費
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	01	社会福祉費
					目	05	総合福祉施設管理費
根拠法令条例等	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,631	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・スポーツや行事等でグラウンド等が快適に利用できる				
		シーメイト敷地内のグラウンド等の管理運営を行う ・グラウンド等の受付業務 ・グラウンド等の維持管理業務(施設管理や電気保安管理などの業務を委託、施設修繕)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	グラウンド利用申請日数	日	目標	357	357	89.6%
				実績	350	320	
イ	活動	多目的広場占用利用申請日数	日	目標	306	306	52.6%
				実績	201	161	
ウ	成果	グラウンド利用者数	人	目標	30,000	48,000	139.7%
				実績	33,324	47,500	
エ	成果	多目的広場占用利用者数	人	目標	5,000	7,000	121.2%
				実績	5,631	7,272	
オ	成果	グラウンド稼働率(時間)	%	目標	80.0	50.0	91.6%
				実績	48.0	45.8	
カ	成果	多目的広場占有稼働率(時間)	%	目標	50.0	10.0	18.4%
				実績	9.0	9.2	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	6	17	0
費	財源	その他特定財源	3,918	3,708	3,499	3,728	
		一般財源	5,461	6,408	6,467	8,693	
		合計(A)	9,378	10,122	9,983	12,421	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	2,066	2,093	2,206	4,219	
		トータルコスト(A)+(B)	11,444	12,215	12,188	16,640	
		関与職員数(単位:人)	正職員	0.27	0.27	0.26	0.50

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月のシーメイト開館時より、高齢者から子どもまで障がい者も健常者もすべての町民が利用できるグラウンドを開放した。 平成23年度から多目的広場に防球用のネットが設置されることになり、それを契機にグラウンドゴルフ・ゲートボール場、サッカー・ソフトボールの練習場、幼稚園・保育園のレクリエーション・運動会の練習場、大規模イベント時の駐車場等の用途に供するため、同年度から有料貸出を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 グラウンドや多目的広場の利用ニーズは、大きい。令和5年度に公共施設予約システムの改修が行われネット予約が開始されると更に利用者が増えることが想定され駐車場の確保が重要となる。また、物価、人件費の高騰により、ナイター設備の省電力化や受益者負担の見直しが必要。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・令和5年度より使用料還付の基準を他の社会教育施設等と同様とする見直しを行った。(利用者から) ・雨宿りや日除けができる場所がほしい。 ・荷物置き場がほしい。ベンチが欲しい。
--	---	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民がグラウンド等を快適に利用できることは、スポーツに親しみやすい環境づくりにつながる。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「スポーツ・文化活動ができる場を提供する」としているため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町総合福祉施設シーメイト条例において、グラウンド等の管理運営の事業を行うこととしている。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍の収まりにより利用者数は、増加している。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	快適に利用してもらうためには必要な手段である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設管理はシルバー人材センターに委託している。他の業務についても必要最小限の人員で効率的に行っている。	2			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の維持管理のためには必要な経費であり、コスト削減の余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	設備の老朽化及び電気料金の高騰もあり受益者負担の観点よりナイター設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	コロナ禍による利用者の減少は、回復傾向にある。今後は老朽化したナイター設備の改修などが必要となってくる。特に、ナイター設備のLED化は、早急な対応が必要である。また、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
合計6点		c	b	a	a		
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止		G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0902303
事務事業名	シーメイト屋内施設管理運営事業			担当課	福祉課	担当係	福祉施設係	
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
					款	03	民生費	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	01	社会福祉費	
					目	05	総合福祉施設管理費	
根拠法令条例等	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例			個別計画				
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民(及び町外利用者)	人	46,631	46,588	46,497
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動に応じた施設を快適に利用できる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シーメイト内の各部屋の貸出や管理、また施設内にある機器全般の保守、修繕、整備業務等を行う(有料貸出施設:シーメイトホール、シーメイトホール控室、会議室[5室]、和室[2室]、研修室、工芸室、調理実習室、交流室[2室]、エントランスホール) ・施設の貸出業務、施設管理、備品管理、修繕委託業務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率		
ア	活動	貸出可能時間数	↑	時間	目標	44,064	44,208	47,580	104.1%
					実績	43,824	46,008		
イ	活動	修繕箇所	↑	件	目標	20	20	20	140.0%
					実績	23	28		
ウ	成果	会議室等の利用者数(延べ)	↑	人	目標	50,000	50,000	55,000	108.9%
					実績	44,895	54,437		
エ	成果	貸出時間数	↑	時間	目標	10,000	10,000	12,000	113.3%
					実績	8,683	11,328		
オ	成果	施設稼働率	↑	%	目標	30.0	30.0	30.0	85.7%
					実績	19.7	25.7		
カ	成果	修繕対応率	↑	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
					実績	100.0	100.0		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	14	18	111,300
	財源	その他特定財源	19,080	22,375	21,007	33,359	
		一般財源	90,963	93,492	85,830	99,019	
		合計(A)	110,043	115,881	106,856	243,678	115,507
		(内 会計年度任用職員人件費)	(13,863)	(17,026)	(16,679)		
		正職員人件費[按分](B)	2,143	2,325	2,545	4,892	
		トータルコスト(A)+(B)	112,185	118,206	109,401	248,570	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.28	0.30	0.30	0.58	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年度の開館当初より、将来の少子化、高齢社会の進展に伴う、子どもたちの健全育成、高齢者、障害者の自立のための総合的情報の発信、交流の場を提供する事を目的に開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、修繕が多くなっている。電気料の高騰などもあり、福祉施設であることを鑑みても受益者負担を見直す必要がある。また、利用者の多くは町外在住者である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者) ・楽器演奏他音出しできる部屋を増やしてほしい。 ・エアコンの効きが悪い。
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	安全かつ低料金で施設を提供することによって、町民のスポーツ・文化活動の場となっている。	2		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ・文化活動の振興のために、幅広い年齢層の町民が会議室等の施設を快適に利用できる場を提供することは適切である。また、シーメイト条例に施設の設置について定めている。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	施設運営の民間委託等について検討の余地がある。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	管理面において問題はなく期待する成果が得られている。コロナ禍により減少していた利用者数は、回復傾向にある。	2		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活動に応じた施設を快適に利用してもらうためには、必要な手段である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で効率的に行っている。	2		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	需用費や委託料など、施設の維持管理のためには必要な経費であり、削減の余地はない。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	設備の老朽化及び電気料金の高騰もあり、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある			
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			施設の老朽化が進んでいるため修繕費用が増加している。施設を維持管理していくには、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。令和5年度末に、町内の無料巡回バスが廃止となるため、来館者の交通費の負担増から令和6年度以降、町民の来館者数の減少の可能性がある。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
合計6点		c	b	a	a	
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充	C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持	E	D		
		縮小	F			
		休廃止	G			
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報

05年度 実施計画事業 総合戦略該当事業

事務事業コード 0902304

事務事業名	シーメイト屋外施設維持管理事業		担当課	福祉課	担当係	福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款	03	民生費
				項	01	社会福祉費
				目	05	総合福祉施設管理費
根拠法令条例等				個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,631	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シメイト敷地の屋外施設(駐車場、遊具、樹木、街灯等)の管理、保守、修繕、整備業務等を行う ・維持管理業務(樹木管理や屋外トイレ清掃などの業務を委託、施設修繕)				
		・なかよしパークやウォーキングロード、ポケットパークなどシメイトの屋外施設を安全で快適に利用できる				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率	
ア	活動	修繕件数	↑	件	目標	5	5	100.0%
					実績	10	5	
イ	活動	維持管理業務委託件数	↑	件	目標	6	6	100.0%
					実績	6	6	
ウ	成果	管理不足に起因する事故発生件数	↓	件	目標	0	0	
					実績	0	0	
エ					目標			
					実績			
オ					目標			
					実績			
カ					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	1,264	120	1,327	0	
		一般財源	12,115	15,833	13,956	15,704	
合計(A)		13,379	15,953	15,283	15,704		
(内 会計年度任用職員人件費)		(2,228)	(2,327)	(2,368)	(2,899)		
正職員人件費[按分](B)		2,066	2,093	2,290	4,307		
トータルコスト(A)+(B)		15,445	18,046	17,574	20,011		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.27	0.27	0.27	0.51	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月のシーメイト開館時より、高齢者から子どもまで障害者も健常者もすべての町民が利用できる屋外施設として供用を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、修繕が多くなっている。遊具等無料開放の設備も多く維持コストが負担となっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者) ・複合遊具等があり、家族や孫と過ごせる場所として利用できる。 ・なかよしパークベンチにおいて置き引きが発生した。 ・安心して過ごせて良い。 ・使いやすい。 ・ウォーキングロードの照明が暗い。
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	市民のスポーツ・文化の場、交流の場である施設を安全で快適に利用できることは上位施策の目指す姿に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、市民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ・文化活動の振興のために、幅広い年齢層の市民が安全かつ快適に利用できる場を提供することは適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例においてシーメイトのなかよしパークやウォーキングロード等の管理運営事業を行うこととしている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	管理不足による事故発生はなく、期待する成果が十分に得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を快適に利用してもらうためには、必要な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で効率的に行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の維持管理のためには必要な経費であり、削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	誰でも利用できる公園のような施設であり、受益者負担にはなじまない。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	無料で利用できる屋外のウォーキングロードやなかよしパークの遊具は、施設内でも特に利用者が多い施設である。経年劣化により外灯や屋外トイレ、遊具等の老朽化が進んでいるが、誰でも利用できる公園のような施設であり、修繕費の財源確保のための受益者負担を望むことは難しい。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502101	
事務事業名	スポーツ推進委員活動支援事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		款	10	教育費
					項	06	保健体育費
					目	02	体育振興費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 36 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)			年度~	年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		⑦ スポーツ推進委員	人	15	15	15
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・スポーツ推進活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	教育委員会が委嘱するスポーツ推進委員のスポーツ推進活動の支援を行う ・事務局運営事務(定例会開催事務等) ・委員報酬の支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	定例会開催数	回	14	14	14	78.6%
イ	成果	町行事、各種団体スポーツ行事参加回数(スポーツ推進委員)	回	目標	18	18	138.9%
				実績	10	25	
ウ	成果	町行事、各種団体スポーツ行事参加延べ人数(スポーツ推進委員)	人	目標	30	100	380.0%
				実績	30	114	
エ				目標			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	846	2,036	1,433	2,016	
		合計(A)	846	2,036	1,433	2,016	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	1,449	1,471	1,420	1,491	
		トータルコスト(A)+(B)	2,294	3,507	2,853	3,507	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.19	0.19	0.17	0.17	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和36年、スポーツ振興法に基づき委嘱された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成23年8月にスポーツ振興法がスポーツ基本法に全部改正され、名称が体育指導委員からスポーツ推進委員へ変更となった。それに伴い、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整の役割が追加された。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町行事や各種団体、町内会のスポーツ行事への協力や指導を行っており、依頼者や行事参加者から大変喜ばれている。
---	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	スポーツ活動推進の中心的な役割を担っており、貢献度は非常に大きい。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ活動を支援するとあり、スポーツ活動の普及啓発を推進することとしているため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ基本法において、市町村がスポーツを推進する体制整備のため、スポーツ推進委員を委嘱するものとなっており、その支援も町が行うべきであるため。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、行事が再開されるようになってきている。それに伴い、推進委員の活動も回復し、体力測定や町行事で活躍できている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ推進委員の活動を支援する事業であり、これ以外の対象はない。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ推進活動の活動がしやすくなるようにその事務局運営等の支援をすることが有効である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算は、報酬・研修会参加のための費用等、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ推進委員の活動の恩恵を受けるのは、町民全体と考えられる。誰でも取り組める生涯スポーツの普及を図ることを目的として活動をしているので、対象は町民全般となるので、受益者負担を求める必要はない。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、行事が再開されるようになってきている。これからは各種団体からの協力依頼が増加する可能性があるため、町のスポーツ推進のための重要な存在になると思われる。推進委員は研修会により知識向上に努め、今後の活動に活かしていく。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A
		維持		E	D	
		縮小		F		
		休廃止	G			
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	1502102	
事務事業名	スポーツ協会支援事業		担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画 体系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
					10	教育費
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		06	保健体育費
				02	体育振興費	
根拠法令条例等	志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 46 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 志免町スポーツ協会	団体	1	1	1
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	志免町のスポーツの普及、振興を図る志免町スポーツ協会の活動支援を行う ・補助金の交付				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	千円	目標	4,458	4,458	100.0%
				実績	4,378	4,458	
イ	成果	スポーツ協会会員数	人	目標	1,900	1,900	92.5%
				実績	1,760	1,757	
ウ	成果	スポーツ協会部数	部	目標	17	17	100.0%
				実績	17	17	
エ	成果	スポーツ協会主催大会開催数	回	目標	18	17	94.4%
				実績	12	17	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	4,378	4,462	4,458	4,462	
		合計(A)	4,378	4,462	4,458	4,462	4,462
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)	1,449	1,471	1,420	1,676		
	トータルコスト(A)+(B)	5,827	5,933	5,878	6,138		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.19	0.19	0.17	0.19	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和46年10月、体育協会(5種目204名)発足。平成10年4月より自主運営化した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 時代の変化に対応するため、名称が体育協会からスポーツ協会に変更となった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	---	----------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町のスポーツ活動が活発に行われることは、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ活動を支援すると掲げ、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくることとしている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ基本法において、基本理念の実現を図るため、地方公共団体とスポーツ団体など相互に連携を図り、協働するよう努めることとなっており、町がスポーツ協会の支援を行うことは妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、郡スポーツ大会が開催されるなど行事が再開された。それに伴い、スポーツ協会の活動も回復してきているため、スポーツの普及や振興に貢献される。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町の生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する団体であり、他に有効な対策はない。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ協会の自主的な活動を支援するため、補助金を交付することが最も有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算は、スポーツ活動を支援する最低限の補助金のため、コストの削減は難しい。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金のため、受益者負担はない。	

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	スポーツ協会は、競技力の向上や、町民向けスポーツ大会の開催など、町のスポーツ活動推進に大きく貢献しており、今後も継続的に支援していく必要があると考えられる。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502103	
事務事業名	大会等参加支援事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等	志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会 参加助成金交付要綱			個別計画	項	06	保健体育費
					目	02	体育振興費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)			年度~	年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 糟屋郡民スポーツ大会出場選手 ㊧ 県民スポーツ大会出場選手 ㊨ 福岡県代表として九州大会や全国大会への出場選手 ・大会に参加する経済的な負担が軽減される	人	未開催	320	350
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	代表として競技に参加する選手に対して、大会等への参加の支援を行う ・助成金、奨励金の交付事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率	
ア	活動	郡民・県民スポーツ大会出場助成件数	↑	件	目標	480	480	79.4%
					実績	49	381	
イ	活動	奨励金交付件数	↑	件	目標	20	37	108.1%
					実績	37	40	
ウ	成果	郡民・県民スポーツ大会出場助成金額	↑	千円	目標	1,920	1,920	79.4%
					実績	448	1,524	
エ	成果	奨励金交付金額	↑	千円	目標	500	500	144.0%
					実績	360	720	
オ					目標			
カ					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	1,493	2,975	2,740	3,235	
		合計(A)	1,493	2,975	2,740	3,235	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)	1,374	1,390	1,334	1,405		
	トータルコスト(A)+(B)	2,867	4,365	4,074	4,640		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.18	0.18	0.16	0.16	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和27年に糟屋郡民体育大会が始まり、スポーツを通して、糟屋地区住民の友情の輪を広げようと開催されている。	②事務事業を取り巻く環境の変化 23年度から、「糟屋地区体育大会」から古賀市が離脱し、糟屋郡7町での「糟屋郡民体育大会」となった。 31年度から糟屋郡民スポーツ大会へ名称変更した。 26年度から、九州大会・全国大会等への参加奨励金の交付を行っている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	--	----------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	郡民スポーツ大会や、県大会、全国大会の志免町の代表として競技に参加する選手を支援することは、スポーツ活動の推進に結びつく。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			活動に係る経済的負担を軽減することは、総合計画の町が取り組むべきことであるスポーツ活動を支援することにつながる。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			本町出身者が郡民スポーツ大会や、県大会、全国大会に出場する際の補助であるため、町の関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、郡民スポーツ大会などが実施されるようになっている。また、九州大会・全国大会・海外への大会出場者が増加しているため、支援を継続する必要がある。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			志免町大会等参加奨励金交付要綱及び志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱で定めてある人が対象。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			スポーツ基本法において、優秀なスポーツ選手を育成するための施策が義務付けられている。大会出場にあたり遠征費等の経費がかかるため、その経費を補助することは有効な手段である。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	2	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			予算は、志免町大会等参加奨励金交付要綱及び志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱で定めてある額、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。また、九州大会・全国大会・海外への大会出場者が増加しているため、支援のための十分な予算確保が必要。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			活動できる国や県等の補助金はなく、奨励金を交付する事業であることから受益者負担の考え方はなじまない。

分析・検証結果		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、郡民スポーツ大会などが実施された。感染症前の状態に戻ったことで、期待どおりの成果があげられている。また、九州大会や全国大会に出場する選手が増え、大会等参加奨励金の申請者数が増加している。様々な行事が開催され、今後も増加することが予想される。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502104	
事務事業名	新体力テスト会開催事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画 体系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		款	10	教育費
					項	06	保健体育費
					目	02	体育振興費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 21 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・自身の体力が把握できる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	新体力テスト会の開催を行う ・スポーツ推進委員会での実施内容の検討 ・参加者の募集、準備及び当日進行、後片付け				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	実施回数	回	目標	1	1	1
				実績	1	1	
イ	成果	参加者数	人	目標	40	50	50
				実績	48	44	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	-
財源		その他特定財源	0	0	0	-	
		一般財源	5	5	1	-	
		合計(A)	5	5	1	-	
		(内 会計年度任用職員人件費)				-	
	正職員人件費[按分](B)		767	776	835	-	
	トータルコスト(A)+(B)		772	781	836	-	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.10	0.10	0.10	-	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町民の体力・運動能力向上のための取り組みに対するきっかけづくりとなるよう、平成21年度より開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	-----------------------	----------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	自身の体力を把握することは、スポーツに取り組むきっかけづくりとなるため、上位施策の目指す姿実現に貢献する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	自身の体力を把握することは、総合計画に記載するスポーツ活動の機会をつくることにつながるため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	心身の健全な発達と豊かな人間性を育むためスポーツ・運動を支援することは、町の役割であり妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	自身の体力を把握する機会を提供し、参加を望む方については受け入れてきている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	全町民が対象のため、適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	自身の体力を把握するため、新体力テスト会で必要な体力測定することは、手段として適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算は傷害保険料のみである。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民に自身の体力を把握することと体力づくりのきっかけにってもらいたいため受益者負担は考えていない。	

分析・検証結果	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 自身の体力を把握し、日常的な体力づくりを行うような仕掛けが必要である。日常的な体力づくりをするのきっかけづくりとして令和6年度は「さわやかウォーキング」に行事を変え実施する。 また、事務事業としては「スポーツイベント開催事業」に統合することとする。		
		0点	1点	2点		3点	
	有効性	いずれか0点	d	c		c	c
	効率性	いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
	合計6点	c	b	a	a		
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止		G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502201	
事務事業名	糟屋地区社会教育振興会参画事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	05	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 30 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)			年度~	年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 糟屋地区社会教育振興会	団体	1	1	1
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	糟屋地区1市7町で構成される「糟屋地区社会教育振興会」への参画を行う ・負担金支払事務 ・各種会議への参加				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率	
ア	活動	負担金額	千円	目標	1,532	1,828	2,058	100.0%
				実績	1,532	1,828		
イ	活動	会議参加回数	回	目標	75	75	75	106.7%
				実績	77	80		
ウ	成果	会議開催回数	回	目標	75	75	75	106.7%
				実績	77	80		
エ				目標				
エ				実績				
オ				目標				
オ				実績				
カ				目標				
カ				実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	1,535	1,844	1,839	2,106	
		合計(A)	1,535	1,844	1,839	2,106	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)	1,150	1,239	1,420	1,762		
	トータルコスト(A)+(B)	2,685	3,083	3,260	3,868		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.15	0.16	0.17	0.20	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 糟屋地区社会教育振興会は昭和30年代と 思われ、糟屋地区の社会教育関係機関及び 団体相互の連絡調整を図り、糟屋地区社会 教育の振興、発展に寄与する目的で開始さ れた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 糟屋地区社会教育振興会の目的として、① 社会教育関係機関、団体相互の連絡調整に 関すること ②社会教育関係職員の研修並 びに指導者の養成に関すること ③社会教 育の振興並びに調査研究に関すること ④ 公民館活動の振興に関すること ⑤人権・同 和教育の研究に関すること ⑥社会体育の 振興に関すること ⑦表彰に関すること ⑧ その他本会の目的達成に必要なことなどが あり、年々運営が厳しくなっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	糟屋地区の社会教育の振興と発展を目的に設立された糟屋地区社会教育振興会の活動が活発に行われることは、上位施策の目指す姿の実現につながる。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画において、町が取り組むべきことでスポーツ活動、生涯学習、文化活動を支援することとしており、糟屋地区社会教育振興会の設立目的と合致するため妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	糟屋地区の社会教育振興を図る事業であり、自治体が主体的に取り組む必要がある。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	糟屋地区各市町と連携して事業を進めており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	この事業において、糟屋地区社会教育振興会を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象において、各種会議へ参加し各市町と意見交換または情報共有を図ることが意図を達成するうえで最も有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各市町担当委員会において、必要最低限の人員で効率的に業務を行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	糟屋地区1市7町で均等割と人口割で積算した金額が負担金となっており、削減する余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	糟屋地区各市町の負担金で運営されており、国や県等の補助金等はない。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	年間を通して各種担当者会議や地区研修会等の事業を実施し、糟屋地区各市町との情報交換や担当者間での業務連携を行うことができた。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502202	
事務事業名	社会教育委員の会運営事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
根拠法令条例等	社会教育法、志免町社会教育委員に関する条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 47 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 社会教育委員	人	9	9	9
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	社会教育に関する諸計画の立案や研究調査、教育委員会への諮問をする社会教育委員の会の運営を行う (委員構成:学校長(小中学校)2名、公民館長2名、文化協会1名、スポーツ協会1名、識見を有する者3名) ・会議運営事務 ・研修会、大会等の引率 ・委員報酬の支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	社会教育委員の会開催数	回	目標	5	4	4
				実績	4	3	75.0%
イ	活動	社会教育研修会、大会引率回数	回	目標	7	7	6
				実績	6	6	85.7%
ウ	成果	社会教育研修会、大会参加延べ人数(社会教育委員)	人	目標	63	58	57
				実績	55	50	86.2%
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	513	995	790	909	
		合計(A)	513	995	790	909	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	1,608	1,632	1,670	1,935	
		トータルコスト(A)+(B)	2,122	2,627	2,459	2,844	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.21	0.21	0.20	0.22	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和47年から。社会教育法第15条による。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 社会教育委員のあり方、取組み方がわかりにくい。(社会教育委員)
---------------------------------------	-----------------------	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	社会教育委員の会の活動が活発に行われることは、町のスポーツ・文化活動の振興につながり、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画において、町が取り組むべきことでスポーツ活動、生涯学習、文化活動を支援することとなり、社会教育委員の会の活動が活発に行われることは、町のスポーツ・文化活動の振興につながるため妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	社会教育法第15条及び志免町社会教育委員に関する条例の規定に基づき、地域において社会教育に優れた知見を有する人々の知識を社会教育行政に反映させていくことが必要である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	各社会教育委員が積極的に活動へ参加しており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	この事業において、社会教育委員を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	委員会(会議)の開催や各種研修会・大会等へ参加することが意図を達成するうえで最も有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	定例会議や糟屋地区代表者会議への参加、各市町社会教育委員担当者との連携など必要最低限の人員で効率的に業務が行われている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	投入コストは委員活動に対する報酬が主であり、学習機会の確保や社会教育の振興を図るためにも削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	社会教育委員への国や県等の補助金等はないため適切である。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	定例会議や社会教育委員主催の町研修会の実施、各種大会への参加など、年間を通して積極的な活動を行うことができた。今後も会議や研修会等へ意欲的に参加し、社会教育委員としての見識を深め、志免町の社会教育振興を図る取り組みに繋げてもらいたい。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502203	
事務事業名		文化協会活動支援事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等		文化芸術基本法、志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱		個別計画	項	05	社会教育費
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 60 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			目	05	文化振興費

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 志免町文化協会 ⑧ ⑨	団体	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町文化活動の推進役として様々な活動(七夕美術展、チャリティカラオケ、文化講演会、響、文化祭芸能発表、芸術祭等)をしている町文化協会への支援を行う ・補助金支払事務				
	・活動が活発に行われる					

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金額	千円	目標	1,260	1,260	1,260
				実績	1,260	1,260	
イ	成果	文化協会会員数	人	目標	400	400	300
				実績	200	257	
ウ	成果	文化協会サークル数	団体	目標	60	60	50
				実績	45	38	
エ	成果	文化協会主催事業数	回	目標	6	6	3
				実績	4	6	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
費	一般財源		1,260	1,260	1,260	1,931	
	合計(A)		1,260	1,260	1,260	1,931	
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)			1,150	1,239	1,334	1,762	
トータルコスト(A)+(B)			2,410	2,499	2,594	3,693	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.15	0.16	0.16	0.20	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町文化協会は昭和60年に志免町文化活動の推進役として、また、町民の心のふれあいを目的に「心豊かなまちづくり」をモットーに創立している。	②事務事業を取り巻く環境の変化 文化協会は、志免町の文化の伝統を継承している。新規加入の団体は増加しているが、若年層の加入は少ない。今後も長く活動を行うために、組織の刷新が必要になってくる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 若年層の参加を増やすためには、どのような活動を行っていけばいいか検討が必要(文化協会)
---	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町文化活動の推進役である文化協会への支援を行い活動が活発に行われることは、町民が歴史や文化に触れ合える機会をつくり、人々の交流が盛んな活力あるまちを目指す上位施策の実現に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	年間を通して予定していた協会主催イベント等の活動を実施することができ、期待する成果が得られた。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金交付事務やイベント運営等の業務支援は最小限の職員で行っており、見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	今年度は4年ぶりに町文化祭が開催され、文化協会も共催事業として美術作品の展示や芸能発表会を実施した。今後の課題としては、これまでの活動支援に加えて、文化協会の活動を広く周知することで若年層の新規加入を促し、高齢化・固定化した会員の刷新を図り、町民の文化活動の普及につなげていきたい。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502204	
事務事業名		文化祭開催事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等				個別計画	項	05	社会教育費
				目	05	文化振興費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 文化協会登録団体 ㊧ 町民 ㊨	団体 人	42 46,631	38 46,588	38 46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	志免町文化協会や志免町商工会等と連携して文化祭の開催を行う(毎年11月初旬 芸能発表、屋外イベント、作品展示等を実施) ・開催に係る事務 ・文化協会、商工会、各種団体との連絡調整				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	文化祭開催数	回	目標	1	1	1
				実績	0	1	
イ	成果	文化祭参加団体数	団体	目標	1	15	15
				実績	未開催	14	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	7	2,092	1,212	2,192	
		合計(A)	7	2,092	1,212	2,192	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		1,449	1,552	1,833	2,822	
	トータルコスト(A)+(B)		1,455	3,644	3,045	5,014	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.19	0.20	0.22	0.32	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和54年の町民センター開館時に開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 住民・団体主導で行う形式で行っている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 文化祭に参加された方から、もっと多くの駐車場確保を行ってほしいとの意見がある。
--	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	文化祭の開催は、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりに取り組み、お互いが学びあい高めあうまちづくりを目指す上位施策の実現に直結する。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで、文化活動への意欲を高めるため、発表の機会をつくること掲げられているため適切である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	文化芸術基本法により、自治体は文化芸術に関する施策を策定し、実施する責務があることが明記されているため妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町民センター改修工事のため、シーメイトにおいて商工会(商工まつり)との合同開催を行った。特に集客の面で期待する成果が得られた。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化活動への意欲を高め、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりに取り組むために団体及び町民を対象とすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各種団体と連携して文化祭を開催することは、活動成果発表の場と文化活動に触れ合う機会の提供につながるため適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	企画から実施まで長期間に及ぶため、仕事を兼務している担当職員の負担が大きい。また、企画の考案等にも限界があるため、企画から運営までノウハウを備えた民間企業に委託することなども検討が必要である。	2			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会場設営費や運営費等の必要最低限のコストで実施しているが、多少コストを投入してでも企画から運営までノウハウを備えた民間企業に委託することで、より質の高い文化祭を開催することができ、町民の参加も増加すると想定される。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県等の補助等はなく、町の負担は最低限であり、協力団体にも運営費等を負担いただいているので適切である。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	町民センター改修工事のため、規模を縮小してシーメイトで令和元年以来の開催となった。商工会(商工まつり)との合同開催を行ったが、特に集客の面で大きい成果があった。例年と会場が異なり、4年ぶりの開催ということもあり、運営面でうまくいかない点もあったため、来年度は今回の内容を受けてより円滑に文化祭を開催できるようにしたい。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大	文化祭は、商工会との合同開催により、経費の縮減と来場者の増加が期待される。また、より質の高い文化祭を開催するため、企画から運営までを専門の民間企業に委託することも検討していく必要がある。	
今後の方向性	成果の方向性	皆減	縮小	維持	拡大	コストの方向性(一般財源・関与職員数)	
	拡大		C	B	A		
	維持		E	D			
	縮小		F				
	休廃止	G					
B		成果拡充・費用維持					

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	市民が読みたい本を借りることができるようにすることで、図書館法にもより、市民の生涯学習や文化活動が充実するため、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3
	意図の適切性 (総合計画、市民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	月替わりで、本のテーマ展示を行い関連図書を紹介する等、多様化する利用者のニーズに対応し、ホームページやLINE等を活用して積極的に情報発信していく。電子図書において1冊に十数名の予約が集中することがあり電子図書の追加購入により貸出増の余地がある。誰でも図書館を利用できるため適切である。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	図書館システムとの関連させた業務の流れで行っている。不具合などが発生した場合もその場で対応できている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
A	拡充		C	B	A	月替わりで、本のテーマ展示を行い関連図書を紹介している。本のリクエストが出来ることを周知するなど様々な工夫をしている。引き続き、環境整備を進め本がさがしやすい館内、利用者ニーズに応える蔵書の充実に努め、ホームページ等を活用して新しい情報を発信していく。また、開設から1年が経過する「しあわせ電子図書館」については、貸出冊数は全体とし増加しつつあるものの、4市町共同で行っていることもあり、全体的に購入冊数が少なく、1冊に予約が集中するため予約が多い図書については2冊以上購入するなど購入冊数増加することにより貸出冊数増加が見込まれる。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
A		成果拡充・費用拡大				コストの方向性(一般財源・関与職員数) 広域電子図書館を共同で運営する1市3町(大野城市、粕屋町、志免町、新宮町)で、貸出冊数や利用登録者数の実績をみながら、今後の電子書籍蔵書数を検討していく。電子書籍には、2年間で閲覧権限が消滅するものがあるため、令和6年度に対象の書籍数が大幅減となることが予想されるため、1市3町の担当者会では令和6年度の電子書籍購入費に係る予算増を見込んでいる。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502206	
事務事業名	図書館一般講座開催事業			担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	05	社会教育費
					目	06	町民図書館費
根拠法令条例等		図書館法			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度						

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
		㊧				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	図書館法の第三条により、一般公衆の希望に沿い、学校教育を援助し、家庭教育の向上に資する活動するため、社会教育における学習の機会を利用して、教育活動等を提供するため。				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	幅広く各種教養講座の開催を行う ・講座の企画、立案 ・開催の準備、実施、後片付け				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	講座開催数	回	目標	1	1	1
				実績	0	1	
イ	成果	講座延べ参加者数	人	目標	50	100	50
				実績	未開催	160	
ウ	成果	参加者の満足度	%	目標	90	100	90
				実績	未開催	100	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
	財源	その他特定財源	0	30	0	30	
		一般財源	0	25	0	25	
		合計(A)	0	55	0	55	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	1,449	695	1,833	2,378	
		トータルコスト(A)+(B)	1,449	750	1,833	2,433	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.19	0.09	0.22	0.27	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成3年の開館当初から実施。 図書館は生涯学習の中核であり、住民からの要望や資料を有効に利用することを啓発するため、講座を開催することとなった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 他課による類似した講座の開催が増えてきた。平成25年度までは「文学講座」、「歴史講座」と、内容によってタイトルを変えていたが、平成26年度から「教養講座」に変更した。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 「文学講座」「歴史講座」や「一般実用講座」など多様な内容について開催が望まれている。(参加者からの意見)
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			町民の生きがい・仲間づくりにつながることから、総合計画の施策に一致しているため妥当である。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ感染症が一段落して、比較的人数の多いイベントが開催できるようになった。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町民を対象としているため適切である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			企画の段階でニーズを把握し、それに沿ったテーマで講座を開催していく。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	職員1人で取り組んでいることから改善の余地は無い。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			予算計上は講師謝礼金のみであり、削減の余地は無い。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			材料費等がかかる際は、受益者負担として一部を負担してもらっている。

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	教育界でも著名な方をお呼びしての講座を開催。子育て世代を中心に多くの方に参加いただき。情操教育の一環となる。今後も町民に役立つ講座を開催していきたい。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502207
事務事業名		図書館ボランティア活動支援事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等				個別計画	項	05	社会教育費
					目	06	町民図書館費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ ボランティア活動団体(助成金交付団体)	団体	5	5	5
		㊧ ボランティア会員(助成金交付団体のみ)	人	59	60	59
		㊨				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	活動場所の提供や助成金の交付によるボランティア活動の支援を行う ・ボランティア活動団体との連絡調整 ・助成金の交付 ・研修会、交流会の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	助成金額	千円	目標	115	115	115
				実績	115	115	
イ	活動	研修会、交流会開催数	回	目標	4	4	4
				実績	2	1	
ウ	成果	ボランティア活動回数(助成金交付団体)	回	目標	220	220	220
				実績	140	142	
エ	成果	研修会、交流会延べ参加者数	人	目標	0	5	5
				実績	5	5	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	115	115	115	115	
		合計(A)	115	115	115	115	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		2,066	927	1,420	4,572	
	トータルコスト(A)+(B)		2,181	1,042	1,535	4,687	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.27	0.12	0.17	0.52	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 開館当初からボランティアの活動団体は2団体であり、その後6団体となった。また、子ども読書活動推進計画により、PTA学校ボランティアも各小学校ごとに計4団体できた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 おはなし会の要請や行事が増え、ボランティアとの協働なくしては読書推進や図書館運営は図れない。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ボランティアの方が高齢の為、新しい(できれば若い)ボランティアの方が増えてほしいとの声あり。(助成金交付ボランティア団体の方から)
---	---	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	図書館ボランティアの活動が活発になることで、図書館の発展や町民の読書活動の推進につながっている。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町の総合計画に基づき、町民の生涯学習や文化活動を支援することとしているため妥当である。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民への読書普及促進や町民図書館の健全な発展向上のためのボランティア団体を支援する事業であるため。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	感染症予防のため活動範囲がコロナ禍前よりは少ないが、出来る範囲で引き続き活動ができるよう支援していく。	2		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	図書館ボランティアに支援する対象を限定しているため適切である。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各団体への支援は助成金の金銭面だけではなく、定例会開場の確保なども行っていて適切である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	担当職員1名で行っているため見直す余地は無い。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	交付要綱に定められている対象経費に対して助成金を交付しているため適正である。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県等の補助金は無い。			
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			今年度は4月中旬から5月末まで掲示し、多くの方に周知ができ興味を持たれた方が2~3名が一部の図書館ボランティア団体に入会した。活動に関しても読み聞かせボランティアが対面による読み聞かせをほぼ町内の小中学校で実施できた。また折り紙で図書館入り口を装飾するボランティアも町内の小学校のフェスティバルなどで折り紙教室を開催して、各団体とも活動回数を増やしていく。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c
		いずれか1点	c	c	c	c
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
合計6点		c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A
		維持		E	D	
		縮小		F		
		休廃止	G			
		コストの方向性(一般財源・関与職員数)				
		D 成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502209
事務事業名	生涯学習ボランティア講師派遣事業			担当課	社会教育課	担当係	生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	項	05	社会教育費
					目	08	生涯学習運営費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 11 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・生涯学習活動が活発に行われる ボランティア指導の登録者を町民の学習の指導者として派遣を行う ・指導者の登録 ・町民からの要請受付、紹介、派遣 ・講師への謝礼金支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	ボランティア指導の登録者数	人	目標	40	40	105.0%
				実績	41	42	
イ	活動	町立小、中学校への派遣回数	回	目標	10	10	
				実績	0	0	
ウ	活動	町内会または公民館への派遣回数	回	目標	4	4	50.0%
				実績	1	2	
エ	成果	ボランティア指導者より指導を受けた人数	人	目標	500	100	50
				実績	0	0	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	10	0	10	
		合計(A)	0	10	0	10	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	533	312	336	173	
		トータルコスト(A)+(B)	533	322	336	183	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.07	0.04	0.04	0.02	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月、生涯学習館開館時に町民の学習活動の推進を図るため、あらゆる種目のボランティア指導者の登録を行い、町民の要請があれば指導者を派遣できる体制を作った。	②事務事業を取り巻く環境の変化 町民独自で指導者を探されることも多くなり、生涯学習館からの派遣が少なくなっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 派遣を行った団体から好評を得ている。
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内で生涯学習が活発に行われることは、町民が学びあい、高めあうまちづくりにつながる。	2	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	派遣を行った団体から好評を得ており、期待する成果が得られている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町民の依頼により、学習したいことについて指導者を派遣しているので適正である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の時間と人員で業務を行っており、これ以上の見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			講師の交通費の費用のみであるため、これ以上削減の余地はない。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	地域及び小中学校からのボランティア指導者の派遣依頼はなかった。本年度においては、中央公民館改修工事の為、各中学校で志免町成人記念式典「はたちのつどい」が行われ、着付・手直しボランティア指導者派遣依頼を受けた。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502210
事務事業名	生涯学習推進委員会運営事業			担当課	社会教育課	担当係 生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01 一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10 教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	項	05 社会教育費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			目	08 生涯学習館運営費	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 生涯学習推進委員会 ⑧ ⑨	団体	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・生涯学習館の運営についての意見が活発に出される				
		住民参加と民主的な運営を図るために生涯学習推進委員会を設置、運営を行う(委員数:8名、委員会概要:町民の学習要求の調査、年間サークル活動や主催講座に対する意見具申、生涯学習館へ運営に関する助言、指導) ・会議開催に係る事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議開催数	回	目標	3	3	66.7%
				実績	2	2	
イ	成果	運営に反映された意見数	件	目標	3	3	66.7%
				実績	2	2	
ウ				目標			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	48	96	36	96	
		合計(A)	48	96	36	96	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		991	1,390	1,496	259	
	トータルコスト(A)+(B)		1,039	1,486	1,532	355	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.13	0.18	0.18	0.03	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月から生涯学習館の建築後、生涯学習館の運営について住民の意見を反映するため設置された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 パソコンに潜む危険性についても教えて欲しい。講座によっては、定員20名に対して2倍となっているが、講座回数を増やすことも検討すべきではないか、などの意見・要望があった。
---	-----------------------	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	委員会の設置により、町民の様々な意見を聞き取る事ができ、またその意見を反映させることにより民主的な生涯学習館の運営を図る事ができるため、施策への貢献度は高い。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	関連する条例において、住民の参加と民主的な活動を図るために、委員会を設置することとなっているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	関連する条例において、委員会を設置することとなっており、その庶務を町で行うこととなっている。また、委員募集では町民から公募する住民参画の機会を取り入れている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	毎回様々な提案や意見をいただいております。行政側では気づかない点もあるため、委員会を通じて、館の利用者や受講生の声を聞くことで成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	この事業において、生涯学習推進委員を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象において、委員会の開催に参加することが意図を達成するうえで最も有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	生涯学習に興味を有した委員へ委嘱することで効率的に運営できている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	投入コストは委員活動に対する報酬が主であり、町民の様々な意見を聞き取り、情報共有及び情報提供するためにも削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	生涯学習委員への国や県等の補助金等はないため適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いづれか0点	d	c	c	
いづれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
D	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502211
事務事業名	生涯学習館一般講座開催事業			担当課	社会教育課	担当係	生涯学習1号館	
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費	
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	項	05	社会教育費	
					目	08	生涯学習館運営費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	⑧ ・生涯学習のきっかけづくりができる ・知識、技能が習得できる ・仲間づくりができる 講座の開催を行う ・講座(長期、単発)の企画、広報やホームページで募集、受講希望者の受付、開催 ・講座運営業務委託契約事務、支払事務、講師謝礼金支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	講座企画数	講座	目標	50	20	205.0%
				実績	38	41	
イ	活動	講座開催数(延べ)	回	目標	200	40	272.5%
				実績	123	109	
ウ	成果	講座受講者数	人	目標	600	300	146.7%
				実績	494	440	
エ	成果	講座の満足度	%	目標	99	99	96.9%
				実績	98	96	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
費	財源	その他特定財源	471	820	387	820	
		一般財源	3,291	4,368	3,343	4,889	
		合計(A)	3,762	5,188	3,730	5,709	5,188
		(内 会計年度任用職員人件費)	(2,077)	(2,235)	(2,229)	(2,756)	
		正職員人件費[按分](B)	1,299	1,703	1,833	173	
		トータルコスト(A)+(B)	5,061	6,891	5,562	5,882	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.17	0.22	0.22	0.02	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習の推進のために生涯学習館が設立されてから。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 女性の割合が多く男性が少ない。 親子で参加できる講座などを企画してほしい。
---	-----------------------	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	この事業の成果と上位施策の成果は同一であり、この事業の成果が向上することは、上位施策の成果が向上することになる。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			条例により、生涯学習館において生涯学習を推進する事業を行うこととなっているため。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	長期講座の期間や回数等を見直す(例:同じ講座を半年ずつ2回行うなど)ことで、より多くの町民の参加者を増やすことができると考える。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			一般講座の受講対象者は町民全体であるため。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			条例により、生涯学習を推進する講座を開設することになっており、他に有効な手段はない。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	関与職員等も最小限で行っているため適切である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			講座開催に必要な最小限の費用で行っているため適切である。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			平成24年度より受益者負担の原則に則り受講料の徴収を開始している。また、国や県の補助等はない。

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	講座の内容が偏らないようバランスを考えて企画をしているが、パソコン講座など人気が高く、定数を超える申し込みがある一方、定数に満たず不成立になった講座もあった。また、図書館やシーメイトが企画している講座もあるため、年間で開催する講座の情報共有を行っている。今後、単発講座を増やしたり、長期講座の期間や回数等を見直したりすること(例:同じ講座を半年ずつ2回行うなど)で、より多くの町民の方に、受講する機会が増えることが期待できると考える。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502212
事務事業名	生涯学習館学習発表会開催事業			担当課	社会教育課	担当係 生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01 一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10 教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	項	05 社会教育費
					目	08 生涯学習館運営費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 講座受講者(一般、ジュニア長期、サークル受講者)	人	371	396	400
		㊧ 町民	人	46,631	46,588	46,497
		㊨				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(講座受講者)学習意欲が向上する ・(町民)生涯学習に対する興味や関心が深まる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	生涯学習館の主催講座や自主サークルの受講生が、学習した成果を発揮できる発表会(年1回、3月第1日曜日)の開催を行う(ステージ発表、作品展示、体験講座ブース) ・企画、運営、発表者の受付				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	開催数	回	目標	1	1	1
				実績	1	1	
イ	成果	発表団体数	団体	目標	5	10	15
				実績	6	9	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	39	510	55	510	
		合計(A)	39	510	55	510	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		916	1,320	1,420	173	
	トータルコスト(A)+(B)		955	1,830	1,475	683	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.12	0.17	0.17	0.02	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習館が開館し、主催講座で学習された成果を年度末に発表して住民に生涯学習の意識の向上を目指す目的で開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 生涯学習推進委員より、生涯学習館フェスタの来場者が、展示及び発表等を見学することで学習意欲を高め、館主催の講座やサークルの受講生が増えることが望ましいとの意見がある。
---	-----------------------	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	この事業の成果と町が取り組むべきことは「生涯学習・文化活動を支援する」同一であり、この事業の成果が向上することは、上位施策の成果が向上することになる。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	展示ブースの認知拡大、体験講座ブースの増設等、発表者や来館者から頂いた意見や改善点を実行することで成果の向上が見込まれる。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、生涯学習館で学んだことの成果を発表できる機会を作るとは、総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会場設営などは職員により効率的に行っている。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			最低限の経費で行っている。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				国、県等の補助はない。	
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	ステージ発表は集客率の高い午前中に開催し、展示は館の空きスペースを利用し一定期間展示するなど、受講生や来館者の学習意欲の向上が図れるよう引き続き検討が必要である。また、生涯学習館学習発表会としてではなく、文化祭と一緒に講座の発表会を開催するなど考えていく必要がある。今年度は、切り絵アート体験、将棋体験、プログラミング体験を行い、集客面で成果があった。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充	C	B	A		
		維持	E	D			
		縮小	F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)	
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502301	
事務事業名	町民センター管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	04	町民センター管理費
根拠法令条例等	社会教育法、志免町立町民センター条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度	

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民(及び町外利用者)	人	46,631	46,588	46,497
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・町民センターを安全で快適に利用できる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町民センターの維持管理業務と施設利用の受付業務を行う ・業務委託契約、支払事務 ・施設修繕契約、支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	町民センター開館日数	日	目標	306	78	0
				実績	306	78	100.0%
イ	活動	施設整備点検箇所数	箇所	目標	14	14	0
				実績	14	14	100.0%
ウ	活動	工事・修繕箇所数	箇所	目標	5	2	0
				実績	7	1	50.0%
エ	成果	年間利用者数(生涯学習2号館分含む)	人	目標	30,000	7,500	0
				実績	33,770	6,530	87.1%
オ	成果	施設稼働率(時間単位)(生涯学習2号館分含む)	%	目標	15	15	0
				実績	17.1	10.7	71.3%
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
費	財源	その他特定財源	4,182	800	252	0	
		一般財源	26,991	20,769	16,750	14,904	
		合計(A)	31,173	21,569	17,002	14,904	
		(内 会計年度任用職員人件費)	(7,845)	(5,936)	(6,002)	(7,182)	
		正職員人件費[按分](B)	6,199	3,254	3,340	3,081	
		トータルコスト(A)+(B)	37,372	24,823	20,342	17,985	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.81	0.42	0.40	0.35	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町民のコミュニティの場及び生涯学習の場の提供。昭和54年開館時から維持管理業務を着手。	②事務事業を取り巻く環境の変化 令和5年度より長寿命化のため改修工事を行っている。(令和8年1月供用開始予定)	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 長期間利用ができないため、代替施設はないか問い合わせがある。
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	志免町の社会教育の拠点として町民センターを安全で快適に利用できることがスポーツ・文化活動の支援につながっている。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民センターを安全に快適に利用できるような状態を保つことが、スポーツ・文化活動ができる場を提供することにつながり、意図として適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立町民センター条例等により、町が町民センターの管理運営を行うこととなっている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍及びコロナ禍明けにおいても一定の利用がされており、また事故等も起こっていないため。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民及び町外の方も広く利用できるため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、施設を適正に管理運営することが最も有効かつ必要である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正に管理運営を行う上で必要な費用である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	受益者負担は適正である。国、県等の補助金は特にない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
D	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502302	
事務事業名	図書館管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	06	町民図書館費
根拠法令条例等	図書館法、志免町立町民図書館協議会に関する条例、志免町立町民ふれあいセンターに関する条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H 3 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民(及び広域利用者)	人	46,631	46,588	46,497
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・町民図書館を安全で快適に利用できる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	図書館の環境整備、維持管理を行う ・目視による館内の点検、施設修繕契約、支払事務 図書館協議会の運営を行う(委員8名、町民図書館の運営に関して館長の諮問に応じ、意見等を述べる) ・協議会の開催、資料作成、報酬支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	開館日数	日	目標	297	298	297
				実績	296	293	
イ	活動	協議会開催数	回	目標	3	3	3
				実績	3	3	
ウ	成果	来館者数	人	目標	40,000	40,000	45,000
				実績	54,890	53,693	
エ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	
オ	成果	施設に関する苦情件数	件	目標	0	0	0
				実績	1	2	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	22,083	23,498	22,403	936	
		合計(A)	22,083	23,498	22,403	936	
		(内 会計年度任用職員人件費)	21,261	22,515	(22,101)		
		正職員人件費[按分](B)	3,984	2,872	3,925	9,070	
	トータルコスト(A)+(B)	26,066	26,370	26,328	10,006		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.52	0.37	0.47	1.03	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成3年、町民の要望により図書館が開館し、以来使いやすく清潔で快適な図書館を目指してきた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 図書館が設置されているふれあいセンターは、築25年を経過し施設の老朽化が進んでいる。施設管理を行う健康課と連携しながら、町の公共施設個別施設計画に基づいて改修していく。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・季節や行事に合わせた飾りつけが好評(利用者から) ・協議会委員になった事により、図書館のことがよく理解できてよかったとの事。(協議会委員より) ・意見箱に「図書館を拡充してほしいです。狭いせいか、窮屈に感じてしまい、ゆっくり本を読むことができません。」という意見がありました。
---	---	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民が安心して図書館を利用するための事業であり、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立ふれあいセンター条例に基づき、常に良好な状態において管理し、その設置目的に応じて効率的な運用をしなければならない。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立ふれあいセンター条例等により、町が設置し管理運営を行うこととしているため妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	安心して利用できるように施設の維持管理はできている。そのため館内表示やサインなどを増やし、また見えやすさを工夫し、利用者にとって本を探しやすい環境を整えている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町内または近郊の住民であり、事業を行う上では対象は適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、施設の維持管理が有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	業務の見直しの余地はなく、効率的である。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を管理運営するために必要なコストである。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県からの補助金はなく、町の予算措置が必要	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	今年度も館内の環境整備として、レイアウト変更や飾り付けを行うなど、見た目に好感が持てるよう工夫した。本が探しやすい(利用しやすい)図書館となるよう、利用者目線でサイン(本を探す目印)や掲示物の更なる改善と日頃の図書の整理を行っていく。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502303	
事務事業名		広域体育施設活用事業		担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費
根拠法令条例等				個別計画	項	06	保健体育費
				目	03	体育施設費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 9 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・町にはない公営プールとトレーニング施設を低料金で利用できる 福岡県立アクション福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を低料金で利用できるよう、施設利用の契約を行う ・施設指定管理者との契約事務 ・負担金支払事務 ・広報への掲載				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金額	千円	目標	1,000	1,000	32.5%
				実績	318	325	
イ	活動	ホームページ、広報掲載回数	回	目標	13	13	100.0%
				実績	13	13	
ウ	成果	プール利用延べ人数	人	目標	3,500	3,500	12.7%
				実績	826	446	
エ	成果	トレーニング室利用延べ人数	人	目標	19,300	19,300	66.7%
				実績	9,840	12,875	
オ	成果	利用可能日数	日	目標	306	306	97.4%
				実績	308	298	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0
財源		その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	317	1,136	325	1,136	
		合計(A)	317	1,136	325	1,136	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	841	856	672	702	
	トータルコスト(A)+(B)	1,159	1,992	997	1,838		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.11	0.11	0.08	0.08	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、近隣のプール・トレーニング施設管理者と利用契約し、町民の方が安く利用できるようにした。	②事務事業を取り巻く環境の変化 24年度より、プールの指定管理者が西部ガスグループ共同事業体へ変更した。それに伴い、契約金額及び町負担額が増額した。29年度より、プールの指定管理者が福岡県スポーツ振興センターに変更。元年10月の消費税率改正に伴い、プール・トレーニング室の利用料金が増額したため、志免町との契約においても利用者負担が増額した。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 施設利用者から、今後も継続してほしいとの声がある。
---	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町に設置困難な施設について、近隣施設を低料金で利用できることは、スポーツ活動の環境づくりとなり、上位施策の目指す姿実現につながる。 第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ・文化活動ができる場を提供するとあり、近隣施設の利用を支援しますと明記されている。 町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、近隣のプール・トレーニング施設管理者と利用契約し、町民の方が安く利用できるようにしたため、妥当である。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、利用者が回復してきている。今後もある程度の時間がかかることが予想されるが、徐々に回復していくと考える。 志免町に住所登録がある人が施設利用できるようにしているため。 町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、有効である。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。 予算は、契約事務と支払事務のみであり、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。 活用できる補助金等はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、利用者が回復してきている。今後もある程度の時間がかかることが予想されるが、徐々に回復していくと考えられる。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502304
事務事業名		社会体育館等管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費	
根拠法令条例等		スポーツ基本法、志免町学校施設開放の管理運営に関する条例、志免町社会体育館の設置及び管理に関する条例			個別計画	項目	06	保健体育費
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 51 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度~	年度
項目		03				03		体育施設費

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 町民 ㊧ 社会体育施設等 ㊨	人 施設	46,631 15	46,588 15	46,497 16
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・(町民)社会体育施設等を安全で快適に利用できる ・(社会体育施設等)安全で快適に利用できるよう管理される 社会体育施設等(町民体育館、西地区社会体育館[+卓球場]、桜丘共同利用施設体育館、各小学校グラウンドと体育館8施設、志免中グラウンド、志免中体育館[+武道場、卓球場]、東中体育館)の管理運営を行う ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き、貸出調整				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	日	目標	342	342	342
				実績	342	343	100.3%
イ	活動	施設使用受付件数	件	目標	9,000	9,000	9,000
				実績	8,958	9,304	103.4%
ウ	活動	修繕実施箇所	箇所	目標	15	15	15
				実績	13	10	66.7%
エ	成果	延べ使用者数	人	目標	273,000	273,000	273,000
				実績	209,126	228,341	83.6%
オ	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	%	目標	100	100	100
				実績	100	100	100.0%
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	10	11	0
財源		その他特定財源	2,095	1,431	2,442	1,830	
		一般財源	13,294	14,488	12,691	11,791	
合計(A)		15,388	15,929	15,144	13,621	15,891	
(内 会計年度任用職員人件費)		(2,150)	(2,246)	(2,282)	(2,799)		
正職員人件費[按分](B)		3,057	3,103	3,502	4,399		
トータルコスト(A)+(B)		18,445	19,032	18,646	18,020		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.40	0.40	0.42	0.50	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ スポーツ振興法の制定に基づき、社会体育及び社会教育の振興を図ることを目的として開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 使用者の競技種目の増加、定期的にスポーツ教室を行いたいなどの問い合わせが増えてきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 施設の予約方法、受益者負担及び広域的な施設使用などに対する意見や要望が多く寄せられている。
--	---	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができています。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	3		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			今後も継続して、利用者が安全に安心してスポーツに取り組める環境を整備していく必要がある。また、施設の利用申請の利便性向上のため公共施設予約管理システムを導入することができた。キャッシュレス決済の活用など条件が整えば窓口に来なくても予約を済ませることができ、利便性を向上することができた。令和6年度からは弓道場が開場するため、管理業務が増加することが予想される。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
合計6点		c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大	弓道場が開場し、弓道のみならず日本の伝統文化に関わる活動(日舞や詩吟等)も利用を認めていくことで、志免町民の文化的活動が活性化される。	
今後の方向性	成果の方向性	皆減	縮小	維持	拡大		
	拡大		C	B	A		
	維持		E	D			
	縮小		F				
						コストの方向性(一般財源・関与職員数)	
						弓道場が開場し、維持管理に関するコストが増加する。	
A		成果拡充・費用拡大					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502305
事務事業名		屋外スポーツ施設管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興		予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する			款	10	教育費
根拠法令条例等					個別計画	項	06	保健体育費
					目	03	体育施設費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 51 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・(町民)運動広場及び総合公園施設を安全で快適に利用できる ・(運動広場・総合公園施設)安全で快適に利用できるよう管理される 運動広場(町民広場、西地区運動広場、東公園グラウンド、桜丘運動公園野球場)、総合公園施設(野球場、テニスコート)の管理運営を行う ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き(抽選会含む)、貸出調整(ナイターに限り抽選会実施) ・グラウンド整備、光熱水費の支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	日	目標	342	342	342
				実績	342	343	
イ	活動	施設使用受付件数	件	目標	-	-	5,600
				実績	5,571	4,752	
ウ	活動	グラウンド整備回数	回	目標	-	-	6
				実績	6	6	
エ	成果	延べ使用者数	人	目標	-	-	74,000
				実績	73,425	58,259	
オ	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	%	目標	100	100	100
				実績	100	74	
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	19	22	0
費	財源	その他特定財源	11,572	4,924	4,317	4,950	
		一般財源	6,970	9,170	7,283	8,716	
		合計(A)	18,542	14,113	11,622	13,666	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	6,583	5,582	5,920	5,459	
		トータルコスト(A)+(B)	25,124	19,695	17,542	19,125	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.86	0.72	0.71	0.62	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ (運動広場)スポーツ振興法の制定に基づき、社会体育及び社会教育の振興を図ることを目的として開始した。 (総合公園)総合公園を整備した昭和51年度から開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 (運動広場)使用者の競技種目の増加、定期的にスポーツ教室を行いたいなどの問い合わせが増えてきている。 (総合公園)テニスの使用者が年々増加傾向にある。 町外在住者の使用が増えた。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 受益者負担及び広域的な施設使用などの意見要望が多く寄せられている。
--	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができています。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	3		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			今後も利用者が安全に安心してスポーツに取り組める環境を整備していく必要がある。施設の利用申請の利便性向上のため公共施設予約管理システムを導入し、条件が整えば窓口に来なくても予約を済ませることができるようにした。また、総合公園管理運営事業と統合して屋外スポーツ施設の管理運営を効率的に行う。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c
		いずれか1点	c	c	c	c
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
合計6点		c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A
		維持		E	D	
		縮小		F		
		休廃止	G			
D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502307
事務事業名		体育施設整備事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	06	保健体育費	
				目	03	体育施設費		
根拠法令条例等				個別計画				
実施期間		<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 3 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 社会体育施設等 ㊧ ㊨ ・安全性、機能性、利便性が向上する	施設	21	21	22
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	社会体育施設等の整備を行う ・志免町弓道場建設 ・総合公園野球場照明改修工事(1期) ・その他工事				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率		
ア	活動	施設整備件数	↑	件	目標	5	3	2	100.0%
					実績	5	3		
イ	成果	施設整備率	↑	%	目標	100	100	100	100.0%
					実績	100	100		
ウ					目標				
					実績				
エ					目標				
					実績				
オ					目標				
					実績				
カ					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	129,590	122,030	86,300
財源		その他特定財源	57,590	149,890	137,070	32,163	
		一般財源	1,552	9,869	26,563	12,057	
		合計(A)	59,142	289,349	285,663	130,520	未定
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		6,732	6,358	7,092	7,307	
	トータルコスト(A)+(B)		65,873	295,707	292,755	137,827	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.88	0.82	0.85	0.83	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 社会体育施設等の老朽化が進んでいるため、町民の一人ひとりが、生涯スポーツに取り組める環境整備などを目的として開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 社会体育施設等の老朽化が進んでいるため、改修、撤去、新設などが必要。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 社会体育施設等利用者から施設改修などの要望があった場合その都度対応している。また、利用していた施設の使用停止に伴い、活動できる施設の建設を要望している団体もいる。
---	---	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が既存・新設を含め、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が維持管理しているため、利用者が安全にスポーツができるよう、各施設の整備を行う。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	利用希望が重なることで、希望される日時に借りられない利用者が発生することはやむを得ないと考えるが、施設自体は貸し出しできている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業の対象を社会体育施設等とすることで、安全性・機能性・利便性の向上を図る。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	社会体育施設等の安全性・機能性・利便性の向上を図るため、整備を行うことは適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設整備に必要な最低限の予算計上となっており、これ以上削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町財政の負担軽減を図るため、補助金等の財源確保を図る。出来るかぎり、事業対象補助金の利用を検討する。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	志免町弓道場の建設、総合公園野球場のライト側照明改修工事を実施した。志免町弓道場については、県の補助を受け、福岡県産材を活用したCLT工法を採用し、耐震性にもすぐれた建築物となっている。弓道のみならず、日本の伝統文化に関わる文化的活動の場としての活用を進めたい。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大	個別施設計画や総合公園野球場整備基本計画等に沿った施設更新工事を行い、安全性や効率性を向上させながら事業を進める必要がある。	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数) 施設の更新について、機能向上を目指した内容とするため、改修コストもかかってくるのが予想される。
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	A	成果拡充・費用拡大					

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502308
事務事業名		町民センター改修事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興		予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する			款	10	教育費
根拠法令条例等					個別計画	項	05	社会教育費
						目	04	町民センター管理費
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		年度より開始		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年) R 3 年度~ R 7 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民センター ⑧ ⑨ ・安全性と機能が向上する	施設	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町民センター(中央公民館棟・機械室棟・生涯学習2号館棟・共同利用施設棟)の耐震補強や老朽化した設備・機器の改修工事を行い、建物の長寿命化と施設環境の向上を図る。 ・町民センター改修基本設計 ・中央公民館棟、機械室棟の耐震診断評定取得				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	調査設計件数	件	目標	1	0	
				実績	1	0	
イ	活動	改修工事件数	件	目標	0	1	100.0%
				実績	0	1	
ウ	成果	事業進捗率	%	目標	40	60	100.0%
				実績	40	60	
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経費	特定	国・県支出金、地方債	0	46,300	20,300	1,450,100
財源		その他特定財源	56,980	14,443	10,646	149,645	
		一般財源	0	0	0	0	
合計(A)		56,980	60,743	30,946	1,599,745	681,603	
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)			2,833	4,343	4,673	5,015	
トータルコスト(A)+(B)			59,813	65,086	35,619	1,604,760	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.37	0.56	0.56	0.57	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町民センターは建築から約40年が経過し、建物及び設備機器等の老朽化が著しく、町民が安全で快適に利用できる環境を維持するためには、施設の改修を行い長寿命化を図る必要があることから開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 社会情勢の影響により世界的に物資の製造・調達(流通)が停滞し、労務費や建築資材等の高騰化など、改修に係る費用の増大が見込まれる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 建物の長寿命化に併せて、施設の機能性向上や周辺環境の整備について要望がある。
--	---	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民センター改修事業により安全で快適な活動ができる施設環境を提供することは、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共施設個別施設計画において、建物の機能を回復・向上させる長寿命化改修を行うことになっているため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が所有する公共施設(社会教育施設)であり、公共施設個別施設計画に沿って自治体が主体で取り組む事業である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	成果の達成に向けて計画的に事業を進めており、現状では期待する成果が得られている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	建物の安全性・機能性の向上を達成するうえで、町民センターを対象とすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民センターの改修工事を行い、建物の長寿命化と施設環境の向上を図ることが意図を達成するうえで最も有効な手段である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の状況や課題を把握している職員と建築士の資格を有する職員で連携を図り、専門的な知見などを有した業者へ委託することで効率的に事業ができています。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民センター改修工事に係る必要最低限のコストとなっており、現在はこれ以上削減する余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設長寿命化に係る国の起債や県の補助金等について調査検討した結果、起債を使用することが最も財源確保に適切である。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 令和5年度は改修工事を発注し、各種部門との定例会議や工程管理を行いながら事業進捗に努めた。令和6年度は工事比率が最も高く、進捗に伴い様々な懸案事項が発生することも想定されるが、令和8年1月の供用開始を目指し、スケジュール管理等を徹底して確実に事業を進めていきたい。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点		c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充	C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持	E	D		
		縮小	F			
		休廃止	G			
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 05 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 05年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502309
事務事業名	生涯学習館管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係 生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計 01 一般会計	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款 10 教育費	
					項 05 社会教育費	
					目 08 生涯学習館管理費	
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 05年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
		㊧ 利用登録団体	団体	383	383	400
		㊨ 生涯学習館	施設	1	1	1
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(町民、利用登録団体)生涯学習館を安全で快適に利用できる ・(生涯学習館)安全で快適に利用できるように管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	生涯学習館(ホール、会議室等)の管理運営を行う ・管理、保守点検業務委託契約事務、修繕依頼、支払事務 ・施設貸出の受付等				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率	
ア	活動	開館日数	日	目標	306	307	305	100.0%
				実績	306	307		
イ	活動	維持管理業務委託件数	件	目標	10	10	10	100.0%
				実績	10	10		
ウ	成果	延べ来館者数	人	目標	20,000	20,000	20,000	85.5%
				実績	17,946	17,099		
エ	成果	施設平均稼働率	%	目標	60	60	50	77.2%
				実績	45	46		
オ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0	
				実績	0	0		
カ	成果	施設に関する苦情件数	件	目標	0	0	0	
				実績	0	0		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
	経	特定	国・県支出金、地方債	0	6	5	0
	財源	その他特定財源	1,285	1,637	1,703	1,672	
		一般財源	17,274	19,067	18,247	20,915	
		合計(A)	18,558	20,710	19,955	22,587	
		(内 会計年度任用職員人件費)	6,087	6,396	(6,434)	(7,769)	
		正職員人件費[按分](B)	5,432	3,950	4,001	1,676	
		トータルコスト(A)+(B)	23,991	24,660	23,956	24,263	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.71	0.51	0.48	0.19	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習の推進のために生涯学習館が設立された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成27年10月から使用区分及び使用料を見直し、使用1時間ごとの料金設定とした。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	生涯学習の場である、生涯学習館を快適に利用できることは、町民が生涯活動の親しみやすい環境づくりとなるため、上位施策の目指す姿の実現に貢献する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「スポーツ、文化活動ができる場を提供する」と掲げているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が生涯学習を推進する場として設置しており、その管理運営を行うことが妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町民センター改修工事に伴い、社会教育課が1号館の中研修室1及び2を執務室として、使用しているため利用者数は減少しているが、平常に戻れば成果が向上する余地はある。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	生涯学習館は町民及び在勤の方も広く利用できるため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を適正に管理し運営することが最も有効かつ必要である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正に管理運営を行う上で必要最低限の費用である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国、県等の補助金は特にない。また利用者においては利用料を徴収している。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	近隣市町と足並みを揃えて館の運営を行う。町民センター改修工事による社会教育課執務室の移設により、貸出や講座開催可能な部屋が減少したため、来館者数に影響があったと推測する。 今後、改修工事終了に伴い、来館者数が増加すると考える。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに07年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A
		維持		E	D	
		縮小		F		
		休廃止	G			
	D	成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)